

府中市自然環境調査 野鳥 2022年度12月 観察場所:武藏台公園 観察時間:9時30分~11時20分

22年度観察数														
観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	観察月数合計
観察日		13	11	8	18	10	14	12	9	14				
番号		天気 名称		晴	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴			
1	カモ	カルガモ												0 0
2	ハト	キジハト		1	6	2		1	4	1		2		7 17
3	ウ	カワウ												0 0
4	サギ	アオサギ												0 0
5	サギ	ダイサギ												0 0
6	カッコウ	ツツドリ		・										0 0
7	トビ	トビ		○										0 0
8	タカ	ツミ		VU										0 0
9	タカ	ハイタカ		VU										0 0
10	タカ	オオタカ		VU						1				1 1
11	キツツキ	コケラ		3	5			3	2	4	1			6 18
12	キツツキ	アケラ		○										0 0
13	キツツキ	アオケラ		○	1	1	2	1	1	1				6 7
14	ハヤブサ	チョウケンボウ		VU										0 0
15	ハヤブサ	ハヤブサ		VU										0 0
16	モズ	モズ		VU										0 0
17	カラス	カケス												0 0
18	カラス	オナガ		NT	9	7	8		2	2				5 28
19	カラス	ハシボソカラス		4	4	2	2	3	10	6	9			8 40
20	カラス	ハシブトカラス		11	7	6	8	11	11	7	10	12		9 83
21	シジュウカラ	ヤマガラ		○					1	2	1			3 4
22	シジュウカラ	シジュウカラ		21	11	22	7		13	13	16	24		8 127
23	ツバメ	ツバメ		2	3	3	3	1						5 12
24	ツバメ	イワツバメ		NT										0 0
25	ヒヨドリ	ヒヨドリ		28	16	18	22	7	2	23	28	25		9 169
26	ウグイス	ウグイス		○			3	2	2			4	2	5 13
27	エナガ	エナガ		NT	6	4			15		16			4 41
28	メジロ	メジロ					3	2	4	34	5			5 48
29	ムクドリ	ムクドリ			17	2	2	3						4 24
30	ヒタキ	シロハラ		1										1 1
31	ヒタキ	ツグミ												0 0
32	ヒタキ	ルリヒタキ												0 0
33	ヒタキ	ジョウビタキ							2					1 2
34	ヒタキ	コサビタキ		VU										0 0
35	スズメ	スズメ					3							1 3
36	セキレイ	キセキレイ						1						1 1
37	セキレイ	ハクセキレイ												0 0
38	アトリ	アトリ												0 0
39	アトリ	カワラヒワ												0 0
40	アトリ	シメ												0 0
41	アトリ	イカル		NT										0 0
41	ホオジロ	アオジ												0 0
改月 / 年				11	10	11	9	9	11	9	11	8	0	0 0 19



注1:表の最下段

注2:名称欄記号

外来種

観察月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
カワラハト								11				
カヒーチョウ	4	3	6	3	4	0	3	5	1			
ソウシショウ												
ホンセイインコ												

レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストのカテゴリー表示を行った。カテゴリー表示の条件を以下に示す。

2020年版 東京都レッドリスト

対象地域 北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧 I A類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧 I B類	EN	I A類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧 II 類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」シグに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
ランク外	○	前回2010年版に掲載されていて今回の改定によりレッドリストから外れた種
非分布	・	主要な生息地でないという理由から対象外とされた種

観察担当者



ヒヨドリ



コゲラ



コゲラ

月	
4	手入れにより林床が明るくなった。♪からアオゲラ、ガビチョウの大きな鳴ラ、カラス及び少數のコゲラ、エナガ空にツバメ、種不明の猛禽を目視。
5	囀りは先月よりは少ないようを感じマザクラの若葉の中に羽をばたつか鳥と見守る親鳥のようだった。ヤマナシでいるように見えた。オナガの幼い声
6	シジュウカラの幼鳥の声が数か所で2か所で聞こえたが、姿は見つけられガビチョウは6羽観察された。その中から、この公園内で営巣しているよ
7	残念ながら、外来種であるガビチョウの羽根などに幼さが残り、歩行は両足かたつ。地上での餌取りの真っ最中だった。アオゲラの巣穴は、さらに大きく
8	日差しを避けているのか鳥の姿が少く、ウグイスが時々声を響かせていた。ブトガラスが松の枝にとまり、口を開子なのか2羽で共に飛び回っていた
9	久しぶりに、混群(コゲラ、ヤマガラ、カワセミ)が現れた。ヤマガラは武蔵台公園で、今季、藪を広範囲で刈ったためか、今季、初めて見かけた。同時に、ウグイスの存在も確認
10	大きなドラミングの音とアオゲラの鳴き声やエナガなどの期待される小鳥は畠にてキセキレイが目撃された。多個体認められ、その様からミサゴ
11	シジュウカラ、エナガ、メジロの混群だった。メジロは、植物のムラサキシキブでいた。猛禽類には2度出会えたが羽は種を同定できず残念。ジョウビタキの飛込む動作時にドラミングのような音を
12	ヤマガラが現れ、人の気配をものともせぬ確認できなかった。ムラサキシキブの枝に盛んにドラミングが聞こえていたが、姿は見当たらない。藪を好む冬鳥が現れていないのが残念
1	
2	
3	

よ月ごとの観察種数と年間の観察種数。

よ、2020年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリー表示。

のラ
ての

22年度コメント

く日が降り注ぎ、春の豊かさが感ぜられる。初つ端
き声を確認。多数のオナガ、ヒヨドリ、シジュウカラ
を確認。緑色低木の茂みにシロハラ(冬鳥)確認。上
ウグイスは確認されなかった。

るがシジュウカラとガビチョウはよく鳴いていた。や
せる個体に遭遇、巣立ちしたばかりのヒヨドリの幼
ダクラのキツツキの穴が深くなり、下方にも掘り進ん
声がきこえた。

聞こえた。子育ては順調のようだ。アオゲラの声も
れなかった。ウグイスの囁りも3か所できこえたが、
口には、虫を咥えて運んでいるものもあった。残念な
うだ。

の幼鳥を目の前で2羽確認した。嘴の色や背中の
足でジャンプするホッピング、足が長く、尾羽も長
でした。一方のウグイスは2羽のさえずりを確認し
なつていて、入口付近に木くずを確認した。

なくかった。繁殖期の囁りがぐっと少なくなったの
。対抗するようにガビチョウの声が聞こえた。ハシ
けて、体温調節している姿が見えた。ヒヨドリは親
。ツバメが上空を旋回していた。

シジュウカラ、エナガ、メジロ)が見られた。なかで
、初見であった。アオゲラの声を数か所で確認。毎月、確認されていたガビチョウの存在の気配は無
確認できなかった。

き声が認められたが、姿は確認できなかった。メジ
確認されなかつたものの、コゲラやオナガのほか、
摩川方面から遙か上空を横断する種不明の猛禽が
と推測されたが定かではなかった。

に3回出会え、時にはヤマガラ、コゲラも観察でき
の実に集まっており、10数羽のグループで行動し
、オオタカは武蔵台公園では初認であるが、もう1
タキ♂♀の2羽を初認。ヤマガラが餌を樹木に埋め
を発した。同一行動のガビチョウ一家5羽を確認。

ず、近くまで来ていた。ときどき混群が現れたがエナガが
にシジュウカラ、メジロが良く止まっていた。閉鎖地から
が見えず、種の特定ができなかった。繁殖行動と考えられ
気になる、注意して観察していきたい。